

家庭に携帯トイレを準備しよう！

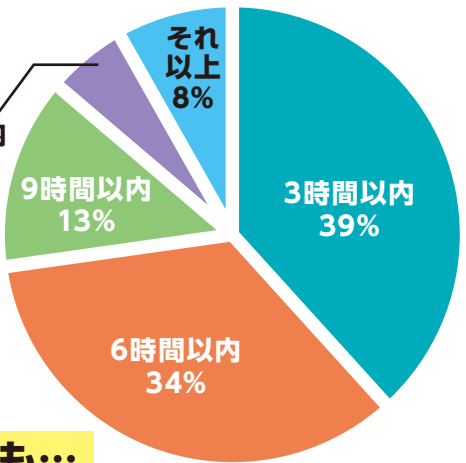
トイレが使えなくなる日、あなたの家は大丈夫ですか？
～“我慢”では乗り切れない、災害時のトイレ問題～

！ 災害が起きてもトイレは待ってくれません

地震発生後、最初に
トイレに行きたいと感じた時間

※平成28年熊本地震
「避難生活におけるトイレに関するアンケート」結果報告
実施主体：岡山朋子 協力：NPO法人日本トイレ研究所

12時間以内
6%

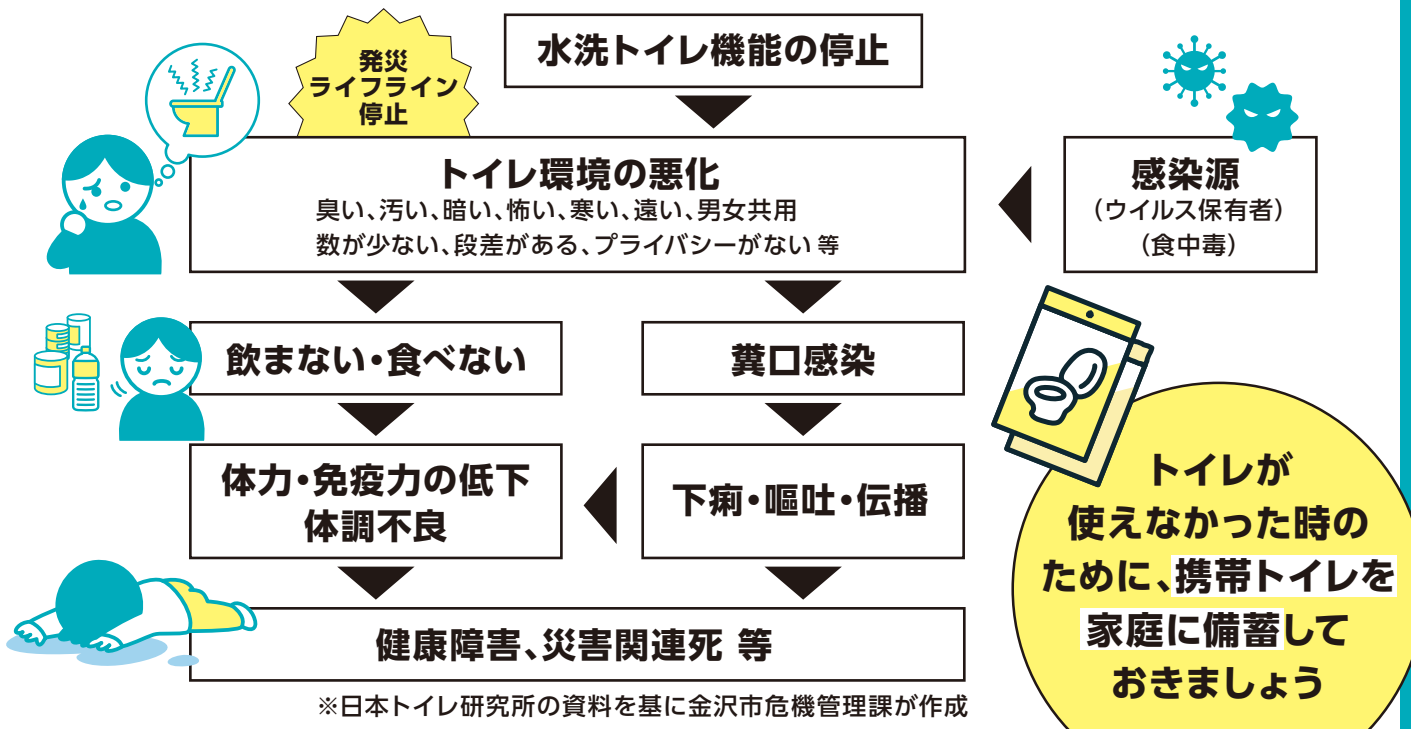


！ 避難所に行ってもトイレが使えない可能性も…



使用禁止になった小便器(写真左)、入口を閉鎖した避難所トイレ(写真右)
写真：日本トイレ研究所 平成28年(2016年)熊本地震|アーカイブ 災害時におけるトイレ事情

！ トイレ機能が停止することで、災害関連死に繋がります



携帯トイレ(災害用トイレ処理セット)の使い方

使い方は製品によって多少異なります。購入後に使用方法を確認し、実際に試してみましょう。

- ① 排使用袋が便器内の水で濡れるのを防ぐため、便座を上げて、便器に外用のビニール袋を取り付けます。
- ② 便座を下ろし、その上から、排使用袋を取り付けます。
- ③ 用を足した後、付属の凝固剤を排使用袋の中に振りかけます。
- ④ 使った後は、1回ごとに空気を抜き、排使用袋の口をきつくしばります。



②

排使用袋を便座にかぶせる



③

凝固剤を振りかける

携帯トイレは比較的安価で販売されています。携帯トイレは1日あたり5回分を目安に、災害に備え最低3日分は家庭で備蓄しておきましょう。



※外用のビニール袋はそのままです。

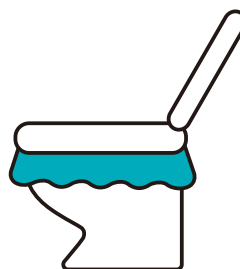
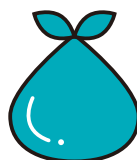
※携帯トイレには様々なタイプものがありますので、吸水量、凝固継続期間、消臭防臭などを参考に備蓄してください。

携帯トイレ(災害用トイレ処理セット)がない場合

- ① 便座を上げて、便器に外用のビニール袋を取り付けます。
- ② 便座を下ろし、その上から、排使用袋を取り付け、中に新聞紙やペットシートなどを入れます。
- ③ 使った後は、1回ごとに空気を抜き、排使用袋の口をきつくしばります。



※外用のビニール袋はそのままです。



● 処理後の排使用袋は、燃えるごみとして出します。

※ごみ収集が停止している間は、地域で決めたルールに従い、一時保管してください。